

今年度最後の保育参観及び子育て講演会において頂きましてありがとうございました。おうちの方が来てくれることを楽しみにしていた子どもたち。恥ずかしそうにしている子、いつも以上に張り切っている子と色々でしたが、楽しく活動に参加する様子や一生懸命取り組んでいる様子から、お子さんの成長を感じ取って頂けたのではないのでしょうか。たくさんのごことを吸収して日々大きくなっている子どもたち。これからもその姿を温かい心で支えて頂ければと思います。

また子育て講演会では、渡邊裕子先生からお子さんをあふれる愛で抱きしめ、触れ合うことの大切さや、絵本で深める親子の絆について等、温かい語り口と言葉で教えて頂きました。保護者の皆様もほっこり笑顔になる温かい時間となりました。

当日の資料にふれあい遊びをたくさん載せて下さっていますので、先生のお話を時々思い出して、ご家庭で是非お子さんとのふれあいを楽しんで頂きたいと思ひます。

先生がお話し下さったことで、心に残った言葉がたくさんありました。一部をお知らせしたいと思ひますので、参考になさって下さい。



<H29.3.4 子育て講演会「絆とぬくもり、豊かな心」講師 渡邊裕子氏（家庭教育アドバイザー）より>

○わらべうたには子どもたちがしっかりと育ち生きていけるようにという将来を見据えた願いや思いが込められている。

・自分がまず楽しいと思うこと→子どもに味合わせる→家族で共感する

➡他の子の楽しさ、悲しさに気付く

○触れ合うことで子どもの力の強さなどの違いに気づき成長を感じる。

○遊びながらわざと障壁を作って障害を与え、それを越えさせてあげる事で将来困難に負けないで乗り越える自信をつける。

○<顔遊び>から

「命のリレー」→命は自分一人のものではなく先祖から受け継いでいる大事なもの

「大道」(お日様の照らす道)→あなたの信じる道を明るく歩いていきなさい(願い)

○幼い子を愛するとはふれてあげること、みてあげること

○愛情を伝えるには笑顔・声・抱っこ…3点セットが一番いい

○絵本を親子で楽しむ→子どもの思いを親が受け止める=自己肯定感を生む

・言葉や字を教えるためのものではない。頭より心をいっぱい動かしてほしい。

子どもは「安心・安定」の中で体も心も育ちます。お子さんがしっかりと成長のステップを上れるように、言葉や身体でのふれあいで愛情を伝えましょう。